

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学統計法		選択	2	(~2024年度入学)2 (2025年度入学~)2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高田 毅	B301	t.takada	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>統計は心理学の実験、研究のための必須技能であり、臨床現場でも心理検査のデータの理解と解釈のために必須である。心理学の専門家として必要な統計を身につけることを目的とする。 <概要>対面授業で展開する。データ分析演習を含めながら進めていく。記述統計と推測統計の基礎を理解し、集約データからデータの全体像のイメージをつかめるようになることを目指す。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技				
	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	手を動かしながら考えることが大切なので、実際に問題を取り組んでみることを。 講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。 予習復習が重要な科目である。毎回の積み重ねを大事にしてほしい。				
教科書	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	よくわかる心理統計/著:山田剛史・村井潤一郎/ミネルヴァ書房 統計でウソをつく法—数式を使わない統計学入門/著:ダレル・ハフ/訳:高木秀玄/講談社ブルーバックス				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学研究における統計学の重要性を説明できる。			HC(3)、(5)	
②	基本的な統計量の性質を理解し、算出することができる。			HC(5)	
③	推測統計について理解し、行うことができる。			HC(5)	
④	日常生活で見られる様々な統計指標について、正しく理解し説明することができる。			HC(3)、(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーションを行う。心理統計の全体像を理解する。	講義・演習	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	2	
2	記述統計とグラフでの図示、尺度水準を学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
3	代表値、散布度、標準化を学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
4	母集団と標本、標準正規分布を学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
5	共分散、相関を学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
6	統計でウソをつく方法を学ぶ。記述統計のまとめを行う。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
7	区間推定を学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
8	検定の仕組みを学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
9	ノンパラメトリック検定を学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
10	t検定を学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
11	分散分析概論を学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
12	分散分析各論(混合計画)などを学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
13	回帰分析、多変量解析概論などを学ぶ。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
14	練習問題を解いて学ぶ①。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	4	
15	練習問題を解いて学ぶ②。まとめとフィードバックを行う。	講義・演習	事前にレジュメを読み、授業後に練習問題を解き提出する。	6	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	20	0	0	0	10	30
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	10	30
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	理解度を問う応用問題などから構成される。統計の知識を用いてデータの集約、分析ができていのかどうかを評価する。				答案を返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後に復習問題を解く。答えだけではなく、考え方の過程が適切に書かれているかを評価する。 (2点×15回=30点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	臨床心理士として 17 年、公認心理師として 6 年の臨床経験を有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	心理検査のデータの読み取りや研究実践の経験を活かして、具体例とつなぎ合わせながら授業を展開する。実際に手計算なども行いながら、データの全体像をイメージできるように解説を行う。						
そ の 他	<p>生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。公認心理師資格習得希望者は必ず履修すること。</p> <p>科目の特性上、実際に問題を解きながら学んでいくことになる。その点を理解の上受講すること。ルート (√) の計算ができる電卓があると望ましい (スマホの電卓アプリでも可)</p> <p>大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。</p> <p>尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p>						